

# 平成 28 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市大岡地域ケアプラザ

## 2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

### 地域の現状と課題について

大岡地域ケアプラザのエリアは本大岡地区、井土ヶ谷地区の2つのエリアが対象となっています。両エリア併せて、約 29,000 人の人口。(平成 26 年 3 月末統計)

65 歳以上の高齢化率は約 23%。そのうち、一人暮らし高齢者が約 1,300 人と高齢者の約 20%を占めています。

両エリアの課題としては、高齢者本人のみならず、本人を取り巻く家族の問題、老朽化した住居の問題、経済的な問題等多岐にわたり、地域ケアプラザに寄せられる相談も、誰にも頼ることができない「キーパーソン」不在の高齢者が増加してきており、相談窓口である地域包括支援センターが行政や地域、また様々な関係機関と連携しなければ対応できないような相談が多くなってきています。

また、昨年度の介護保険制度の改正により、要支援等軽度者のサービス提供においては「総合事業」へと移行している状況の中で、軽度の高齢者の地域における「受け皿」の整備、地域で活動できる人材の育成など、地域包括ケアシステムを具体的にどのように形作っていくかが大きな課題となっています。

## 施設の適正な管理について

### ア 施設の維持管理について

- ・3館合築の「大岡健康プラザ」として、スケールメリットを生かし電気、ガス、水道など水光熱費等の削減を図りました。また、定期的な保守・点検も休館日を利用して効率良く行っていました。
- ・高齢者から乳幼児まで幅広い方々が利用される施設であるため、施設内で事故が生じないように壁面の画鋲をお全て撤去し、高齢者、幼児等の誤飲を防ぐ取り組みを行いました。また、床カーペットも汚れがひどく、南区役所とも事前に協議を重ねながら、張り替えるなどして衛生面にも配慮を行いました。

### イ 効率的な運営への取組について

- ・費用対効果の考え方を職員間で共有してきました。各事業においてもこれまでのやり方の見直しを行い、時間管理、コスト管理などを工夫しながら効率的な運営を図りました。
- ・職員の定着が効率的な運営につながることを考え、「目標設定」、「振り返り」など職員と定期的に進捗状況等の確認の場を持ち、また業務上必要な資格を取得した際のインセンティブの仕組み作りも始めています。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付窓口（受付者：社会福祉士、責任者：所長）を設置し、苦情の申し出には迅速な対応が取れる体制を整備しました。
- ・ 施設内に「苦情受付担当者」「第三者委員」の氏名、連絡先等を掲示し、地域の方々に周知しています。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 職員全員のメーリングリストを作成し、それをいくつかのグループに細分化しながら緊急時の安否確認等の体制を作り、年2回、安否確認訓練を行いました。
- ・ 災害時「特別避難場所」として機能を果たすことができるように、「特別避難場所開設・運営マニュアル」を整備し、また「大岡地域ケアプラザ・BCPマニュアル」を作成し、災害時における職員の役割分担などの確認作業を行ないました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・ 平成28年度は通所介護事業において車輛事故が何件か連続して発生したため、その改善策として、運転業務に就く職員の「健康チェック」を導入しています。①血圧測定、②アルコールチェック、③運転免許証の確認を毎回、実施し、そのことによりドライバーの健康への意識が高まってきました。
- ・ 「安全衛生委員会」を産業医、毎月出席のもと、行っています。特に施設全体の安全・衛生に関わることとして、所内の各部屋、廊下、トイレなどの巡視を行い、安全面、衛生面のチェックを行い、改善に努めました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 個人情報の持ち出しは原則禁止。ただし、業務上やむを得ず持ち出ししなければならない場合は、最小限にとどめ、「持出品確認票」に記入し、他の職員とともに確認し、また帰社時には同じく他の職員とともに返却の確認を徹底しています。
- ・ ファックス誤送信防止のため、「指さし確認」「声出し確認」を複数の職員で確認しています。
- ・ USBメモリの使用については「包括用」「請求用」「地域用」の3本のみを使用しています。保管においてもキーボックスで管理し、鍵のかかる書棚にて保管しています。

#### キ 情報公開への取組について

- ・ 「介護サービス情報の公表制度」に伴い、通所介護、居宅介護支援事業についての公表を行ないました。
- ・ 個人情報の開示請求があった場合には、法人の「個人情報管理規程」に則り、適正に対応していきます。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

- ・ 収納スペースが少ないため、各種事業における書類が毎年、蓄積していきませんが、法人の規程における保存期間の過ぎた書類、介護保険上の規定を満たした書類等についても速やかに廃棄処分していきます。
- ・ 屋上に設置した太陽光パネルも順調に稼働し、災害時等の際の非常用の電源として活用していきます。

#### ケ 人権啓発への取組について

- ・ 高齢者や障害のある方々など他者と関わるのがケアプラザの仕事であり、自分とは違う他者の存在を認め、大切に「思いやりの心」を一人一人の職員が見失うことがないように、事業所内で何でも話し合えるような「環境」を整えていくとともに、研修などを通して、「差別」「偏見」「ハラスメント」など人権に関わる意識を高めていけるように進めています。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

- ・ 社会福祉士 2
- ・ 主任介護支援専門員 1
- ・ 経験ある看護師 1
- ・ 予防プランナー 2

#### 《目標》

- 1 看護師
  - ・ 地域の高齢者が出来る限り自立して、住み慣れた地域で生活できるように介護予防に係る取り組みを進めていきます。
- 2 主任介護支援専門員
  - ・ 居宅介護支援事業者、介護支援専門員のサポートを進めていくこと、また、地域において認知症の理解が深まっていくように関係機関と連携し取り組んでいきます。
- 3 社会福祉士
  - ・ 地域の高齢者等の相談窓口として親切で丁寧な対応を心がけていきます。また、権利擁護、虐待防止など関係機関と連携を図りながら対応していきます。
- 4 予防プランナー
  - ・ 介護予防のプラン作成のために、予防プランナーを配置して対応していきます。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- なし

#### 《その他（特徴的な取組、PR）》

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
211	211	211	186	186	186
10月	11月	12月	1月	2月	3月
164	164	164	152	152	152

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 介護支援専門員 3

《目標》

- ・ 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、個々のニーズに沿ったサービスが提供されるように、事業者、関係機関と調整を行い、利用者本位の居宅サービス計画書を作成していきます。
- ・ サービス事業者の選定においては、公正・中立な立場を守ります。
- ・ 関係機関、医療、行政などと連携を通して「顔の見える関係」を構築し、より良いケアマネジメントに反映させていきます。
- ・ 介護支援専門員の連絡会、外部機関等による関連研修などに積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを目指していきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 居宅介護支援においては利用者負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター併設の強みを活かし、支援困難ケースに対しても積極的に関わっていきます。また、介護保険のみならずインフォーマルな活動とも連携してコーディネートしていきます。
- ・ 地域ケアプラザ内の他の部門（通所介護・地域活動交流・地域包括支援センター）と共に地域に潜在する課題やニーズの発掘や対応の方向性など、連携し対応していきます。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 □	5月	6月	7月	8月	9月
94	93	92	93	92	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96	94	98	93	92	92

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要介護1） 794円
  - （要介護2） 927円
  - （要介護3） 1,064円
  - （要介護4） 1,021円
  - （要介護5） 1,338円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10~16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車両運転手

《目標》

- ・ 利用者が住み慣れた地域で生活していくことができるように、日常生活のための機能の維持、向上を目指し機能訓練に力を入れ取り組んでいきます。
- ・ 認知症の利用者の方々が安心して1日をすごしていただけるように、職員の認知症に対する理解、また対応においてスキルアップを図っていきます。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ その方の興味に応じた選択制のレクリエーションを行っています。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
659	708	716	701	663	674
10月	11月	12月	1月	2月	3月
675	665	580	592	593	672

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護サービス
- 給食サービス
- 入浴サービス
- 送迎サービス
- 機能訓練サービス 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 1,975円
  - （要支援2） 3,930円
- 食費負担 750円

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:10～16:15

《職員体制》

- 生活相談員
- 介護職員
- 機能訓練指導員
- 調理員
- 送迎車両運転手

《目標》

- ・ 介護予防サービス計画書に基づいて予防通所介護計画書を作成し、利用者の生活機能の維持、向上を目的としておこなっていきます。

《特徴的な取組、PR等》

- ・ 絵手紙、押し花、書道などボランティア等の協力をいただきながら、幅広い選択できるレクリエーションの提供を行っていきます。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3	3	1	1	2	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	1	2	2	2	2

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ・地域の福祉・保健の窓口として、南区役所と連携して対応しました。特に南区役所が移転したこともあってか、相談件数が前年度と比べて大幅に増えています。
- ・エリアである井土ヶ谷地区では、毎月3回、地区の民生委員の方々と連携を取りながら「出張相談」を開催していますが、平成28年度は、出張相談の中で横浜市消費生活総合センターの相談員を講師に招き、「悪徳商法の被害にあわないための講座」を開催しました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携（生活支援整備体制事業も含む）

- ・当該エリアに居住等している「認知症キャラバンメイト」の方々と定例会を開催しました。また、「認知症サポーター養成講座」など、地域活動交流、地域包括支援センター、また生活支援コーディネーターとで連携して開催をしました。平成28年度は、近隣の小学校、銀行、介護事業所など幅広い層に対して、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。
- ・「地域ケア会議」の企画から、実施まで各職種間で役割分担をしながら実施しました。

### 3 職員体制・育成

- ・各事業とも、人員配置基準、資格要件等を満たし、業務を遂行しています。欠員等が出た際には、法人本部と連携を取り、速やかに人員配置をしていきます。
- ・人事考課制度のもと、職員とは年度の目標を立てるところから、進捗状況の確認、定期的な振り返りを行いながら、職員個々のスキルアップにつなげています。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区とのそれぞれの関係者、関係団体と事業、会議、研修などを通して連携を図り、幅広いネットワークを構築してきました。
- ・障がい者の関係においても、南区障がい児者団体連絡会、生活支援センター、また地域の作業所とも連携してきました。また、横浜国立大学特別支援学級とは、校長、副校長をはじめとし、先生方と何度か打ち合わせを行い、生徒たちの「ボランティア活動」の受入れを授業に組み込む「形」を作り、実施し始めました。

### 5 区行政との協働

- ・第3期南区地域福祉保健計画の推進にも、南区役所、南区社会福祉協議会と連携し、参画しています。
- ・南区の認知症事業の支援をはじめ、認知症キャラバンメイトの支援を共同で行っています。



## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・南区、南区社会福祉協議会と協働し、アセスメントシートを活用し、情報の更新や見直しを進めています。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区それぞれで開催している子育て、高齢者サロン等の情報を広報誌の中でも取り上げ、地域の方々に情報の発信をしました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・施設の利便性の良さを最大限に生かし、地域の様々な福祉・保健関係の団体の登録を進めています。
- ・「マタニティ・ヨガ」や「サンサンクラブ体操教室」など既存の団体がOB会や仲間作りの場として別のグループを立ち上げていますが、そのような団体にも利用の促進と活動を広げています。

### 3 自主企画事業

- ・児童、障がい児者、高齢者など、幅広く自主事業を行なっています。そしてそれぞれの事業が地域の中で定着し、根付き、安定して利用していただいています。

### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・平成 27 年度から実施している「ボランティア・カレッジ」を平成 28 年も 7 月、11 月に開校しました。参加者に対してケアプラザでのボランティアの紹介、また地域の様々な活動の中でのボランティアの紹介など行い、地域で活動できる人材の掘り起し、育成を行っています。
- ・同様に平成 27 年度から実施している「ボランティア感謝会」を今年度も開催し、既存のボランティアの定着を図ること、またボランティア個々の横のつながり、団体間のネットワーク作りを進めています。

# 地域包括支援センター

## 1 総合相談・支援

### 総合相談

- ・立地条件の良い施設であるため、子どもから高齢者まで幅広い層からの相談が日々、寄せられています。電話での相談、またアポイント無しの来所での相談等、日々、多くの様々な相談がありますが、関係機関等とも連携を図りながら親切で丁寧な対応を心がけています。
- ・ケアプラザから少し距離のある井土ヶ谷地区においては、「出張相談」を定期的に行なっています。昨年度は、「出張相談」の中で、「悪徳商法にあわないため」の講座を行い、多くの方に出張相談を知っていただくための工夫を行っています。

### 地域包括支援ネットワークの構築

- ・今年度も「元気づくりステーション」を協働で支援しました。本大岡地区「遊友」については、自主活動期に入るため継続できるようなフォローと新メンバーの受け入れ窓口となります。井土ヶ谷地区「いどがや」は自主活動に移行できるように働きかけています。
- ・認知症サポート・キャラバンメイトとの展開を協働で進めています。
- ・本大岡地区、井土ヶ谷地区の民生委員児童委員協議会へのサポートや各勉強会の側面的支援を協働して実施しています。
- ・サロンなどでの介護予防事業の展開を協働で進めています。

### 実態把握

- ・地域のサロンへの出席や地域の介護などに小まめに出席していく中で、地域の状況や課題などの把握を行い、加えて「地域支援チーム」にも参加し、幅広く実態把握に努めています。

## 2 権利擁護

### 権利擁護

- ・「出張相談」の中で、地域の方々に出張相談のことを知っていただくこと、また、身近なテーマとして成年後見制度や消費者被害等に係る周知を行ないました。
- ・個別支援等を通して相談を受け、必要なケースには専門機関につなげています。

### 高齢者虐待

- ・民生委員、介護事業所等からの情報を基に、関係機関と連携を深めながら、必要な支援につなげています。

## 認知症

- ・大岡エリアのキャラバンメイトと定期的な連絡会を開催し、情報交換、また「認知症サポーター養成講座」などの開催も連携して行なっています。
- ・地域の小学校、銀行、介護事業所などにも積極的に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。
- ・大岡地域ケアプラザの事業である「ボランティア・カレッジ」の中でも、認知症の方々の理解のために「認知症サポーター養成講座」を組み込み実施しました。

## 3 介護予防マネジメント

### 介護予防ケアマネジメント力

- ・横浜市介護予防支援指導者研修で得た内容を踏まえ、区の担当者と連携し、相談しながらケアマネジャー支援等を行っています。

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・本大岡、井土ヶ谷地区において、両エリアの民生委員とケアマネジャーとの交流会を開催し、「顔の見える関係」作りを進めています。

### 医療・介護の連携推進支援

- ・地域ケア会議においても、地域の医師、薬剤師の参加を要請し、医療関係者とも普段から「顔の見える関係」作りを進めてきました。
- ・ケアマネジャーとの交流会などでも医療関係者に講師を依頼するなど、連携を図っています。

### ケアマネジャー支援

- ・区内の新人ケアマネジャーを対象にして、「新人ケアマネジャー研修会」を実施しています。
- ・本大岡、井土ヶ谷地区の民生委員とケアマネ交流会を持ち、地域の方々と「顔の見える関係」作りを行っています。

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ・南区在宅医療支援ネットワークの事務局として、地域の関係機関のネットワーク作りに積極的に関わりました。
- ・地域、医療、介護事業者、また区役所、区社会福祉協議会などと連携して、地域ケア会議を定期的に行ないました。

## 介護予防事業

#### 介護予防事業

- ・「男性体操教室」「脳トレウォーキング」など、新たな介護予防事業を始め、多くの方々の参加を得ています。
- ・両エリアの「元気作りステーション」が地域の方々を中心に進めていけるように区役所と連携し、支援を行っています。

## 6 生活支援体制整備事業

- ・地域交流活動職員が生活支援コーディネーターに就任したこともあり、地域のアセスメントや地区社協役員等の関係者との関係を築くことはスムーズに行う事ができました。
- ・地域ケア会議を協議・連携の場として開催し、地区社協、地域の民生委員、地域の関係者、介護事業者、医療関係者、行政や関係機関等と連携しネットワークづくりを行いました。
- ・生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員、地域活動交流職員等が、日々、風通しの良い関係を築きながら、定期的にミーティングの場を持ち、連携を深めています。

# 平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 横浜市大岡地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料等収入	14,317	27,918	149	0	0	0	0	5,789
	介護保険収入	0	0	0	4,915	15,071	87,745	1,790	0
	その他	2,190	5,071	10	0	306	490	9	108
	事業費収入	124	0	0	0	0	0	0	108
	認定調査費	0	0	0	0	306	0	0	0
	修繕追加分	60	16	0	0	0	490	9	0
	事務費収入	337	49	0	0	0	0	0	0
	法人負担分	1,669	5,006	10	0	0	0	0	0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>16,507</b>	<b>32,989</b>	<b>159</b>	<b>4,915</b>	<b>15,377</b>	<b>88,235</b>	<b>1,799</b>	<b>5,897</b>
支出	人件費	9,619	30,520	0	3,226	13,257	67,762	1,382	4,900
	事務費	904	797	0	0	1,079	3,451	70	
	事業費	421	287	159	0	0	8,128	165	352
	管理費	4,793	1,369	0	0	0	6,254	127	
	その他	770	0	0	0	0	490	9	0
	消費税	770	0	0	0	0	0	0	0
	修繕追加分	0	0	0	0	0	490	9	0
	<b>支出合計(B)</b>	<b>16,507</b>	<b>32,973</b>	<b>159</b>	<b>3,226</b>	<b>14,336</b>	<b>86,085</b>	<b>1,753</b>	<b>5,252</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>0</b>	<b>16</b>	<b>0</b>	<b>1,689</b>	<b>1,041</b>	<b>2,150</b>	<b>46</b>	<b>645</b>

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

# 平成28年度 自主事業報告書

## 横浜市大岡地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おしゃべり交流サロン	高齢者及び身体障害（主に脳血管障害による中途障害）のある方が家に閉じこもらず定期的に集まり自分を表現したり多くの人の話を聞いたりすることにより脳を活性化させ、また自分たちでイベントを企画のしながらみんなで継続的に創っていく会	原則毎月第2月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	ケアプラザまで歩いてくることの出来る高齢者の介護予防を目的としてボランティアの協力のもと体操やレクリエーションを行い定期的に集える場所として継続的に開催する。	原則毎月第4月曜日 13：00～15：00 〔年12回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大岡川ふれあいサロン	介護予防を目的として、本大岡地区社協と共催。ボランティアの協力のもと、ケアプラザまで遠い方でも身近な場所で定期的に集い、体操、食事、レクリエーションを出来るよう、町内会館を利用して継続的に開催。	原則毎月第2金曜日 11：00～14：00 (8・2月 休み) 〔年10回〕

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サンサンクラブ 体操教室	知的障がいを持つ小学生の余暇活動を支援する目的で、みんなで音楽に合わせて体を動かしたり、遊びの要素を取り入れた体操教室。教室の始まる前の時間を使って早くに自由にお絵かきや粘土などのレクリエーションの他、夏休みやクリスマスのレクリエーション等イベント開催も開催。保護者においては教室の時間を利用し、学年を超えて保護者同士の交流、情報交換の場所を提供。必要に応じ勉強会も行う。	5月～翌3月 原則第1・3水曜日 15：00～フリースペース 15：30～16：30体操 〔全18回〕

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室	出産を迎える妊婦さんの健康維持と社会的な孤立を解消するためにヨガのほか助産師による相談や仲間作りを促すお話し時間も設ける。安心して出産に望める環境づくりを支援し虐待の予防を目指す。体操の他に、今までの卒業生を交え出産の体験談など交流も行う。	5月～翌3月 第1・3木曜日 10:00～11:30 年3クール (1クール 5回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マタニティ ヨガ教室同窓会	ヨガ教室の卒業生が出産を終えた後、1回集まって同窓会を行う。同じ時期に近場に住む妊婦同士がヨガ教室で仲間となり、出産を通して地域での協力し合う同志を確認し合う。また、ケアプラザにおける「子育て事業」に対する意見やアイデアを出してもらい、出産後もケアプラザを通して地域参加できる仕組みを作る。	年3回・不定期

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おーおか通信 (広報紙)	本大岡・井土ヶ谷の両町内会協力のもと、約1200部を配布。ケアプラザの様子や介護保険等福祉の情報の提供を行う。さらにケアプラザからの情報発信源として、地域の情報も盛り込む	年4回発行

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこサン デー	公的な場所で安心して遊べる「場」の提供と、父子の交流を図る 若い世代へのケアプラザの周知	原則毎月第1日曜日 13:30～16:00 (月1回)

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
クリスマス トーンチャイム コンサート	普段ケアプラザを利用している団体や個人、ボランティアの方を始め、近隣の福祉施設利用者の方とともにクリスマスを愉しむ企画。 日頃同じ場所を利用してもつながりがない人たちが、顔を合わせ交流を深める。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア カレッジ	介護保険の制度改正等があり、より地域活動が重要視されている中で、ケアプラザで活躍される以外の方々を対象に地域の担い手や施設のボランティアを発掘、育成する。	コース制 7月 第3回 3回コース 11月 第4回 3回コース

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	日頃よりケアプラザで活動していただいているボランティアに感謝会を行う。また、ボランティア同士が顔見知りの関係になってもらい、新しいつながりを築く場に。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数



# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

## 平成28年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②述べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
おしゃべり交流サロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③なし						
ミニデイサービス 「プラザお楽しみ会」	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②300						
	③300						
大岡川ふれあいサロン	①原則65歳以上	0	0	0	0	0	0
	②240						
	③600						
サンサンクラブ体操教室	①知的障がいのある小学児童	168,183	140,783	27,400	133,000	10,000	25,183
	②200						
	③200						
マタニティヨガ教室	①区内在住妊婦	120,000	36,000	84,000	120,000	0	0
	②300						
	③1500(5回分)						
マタニティヨガ同窓会	①マタニティヨガ教室卒業生	21,280	21,280	0	18,000	3,280	0
	②45組						
	③なし						
にこにこサンデー	①未就園児親子	6,720	6,720	0	0	6,720	0
	②15組×10回						
	③なし						
クリスマス トーンチャイム コンサート	①地域全般	0	0	0	0	0	0
	②50組						
	③100						
サロン合同クリスマス会	①原則65歳以上	31,700	19,100	12,600	0	16,700	15,000
	②50						
	③100						
ボランティア カレッジ	①地域全般	15,898	15,898	0	15,000	898	0
	②40						
	③なし						
ボランティア感謝会	①地域全般	50,662	50,662	0	0	15,000	35,662
	②40						
	③なし						
		0					
		0					
		414,443	290,443	124,000	286,000	52,598	75,845